

競プロ勉強会

2回目

九州工業大学 情報工学部 ALSA 吉田信将

この勉強会について

- ALSAが主催している、計算機科学の勉強会
- 藍橋できちんと戦える人間が欲しい
- 今年から勝つのはは無理かも
- なので、来年以降戦えるための力をつける

藍橋杯までのスケジュール

- ~~4/17(水) 藍橋過去問やってみようの会~~
- ~~4/24(競プロ勉強会 その1)~~
- **5/ 8(水) 競プロ勉強会 その2**
- 5/15(水) 競プロ勉強会 その3
- 5/22(水) 競プロ勉強会 その4
- 5/25(土) 藍橋杯本番

今日の内容

今日の内容

- まず、過去問を解いてみます
- ちょっと様子を見て、追加でなんかします
- そもそもプログラミングってなんだろう、
みたいな...

解く過去問について

- 配った資料
- 最近の藍橋の過去問(の日本語訳)だそうです
- Aから順番に解いてみてください

では、解いてください

とりあえず10分ほど待ちます

競プロで一番難しいところは？

- 解き方を考えること
 - そもそも何をしなきゃいけないか
 - この難しさは日本語で考えても変わらない

今日は
じゃんけんゲームを
徹底的にやります

問題をシンプルにします

- 解く考え方こそが、重要
- プログラムを書くことが大事...ではない
- なので、まずは考え方のアタリをとります
-

今からすること

- 問題の解き方を「言葉で」考えてみます

- → のような表をお渡しします

	Alice	Bob	Cindy
1	ゲー	パー	パー
2	ゲー	チョキ	パー
3	チョキ	チョキ	チョキ

- この表を見て、誰がいくら儲かるかの計算を、誰にでもわかるように言葉や図にしてください

近くの人と共有してみよう

- 自分の説明が伝わるか確かめるため、近くの人に説明してみてください
- 話すと思わぬ穴が見つかるかと思えます
- 知らない人がいたら、自己紹介からお願いします

今日のまとめ

今日伝えたかったこと

- 「そもそもプログラミングって何？」について考えるワークショップでした
- ちょっと例え話をします
 - タユピンコ人の寓話
- <https://scrapbox.io/nishio/タユピンコ人のたとえ>

今日伝えたかったこと

- 「そもそもプログラミングって何？」について考えるワークショップでした
- プログラム = 計算機でもわかる言葉
- 計算機語に翻訳するには、まず自分の言葉でやってほしいことを説明できる方がいい

なぜコンテストが行われるか

- 優秀な通訳が欲しい
 - もう計算機がないと生きて行けないので、逃げられない
- 優秀な通訳が勉強を始めるきっかけとして、さまざまなコンテストが行われている

藍橋杯は人材育成の場

- 大学としては、参加することをきっかけに、通訳が好きな人が出てくることを期待している
- 点を取ることそれ自体は目標ではない
- もちろん、いい点とって悪い訳じゃないが...

今日のまとめ

- そもそもプログラムとは、誰にでもわかるように説明すること
 - 人間にも、計算機にもわかる説明
 - たまたまCとかJavaとかで書いているだけ
- 競プロはその優秀な通訳が欲しい
 - いい点をとって欲しいだけではない
 - 一ヶ月やったくらいで簡単に身につくものでもない

最後に...その1

- まだ藍橋申し込んでない、みたいな人に連絡
 - 実は昨日まででした
 - 今申し込みをしてくだされば、ギリ間に合います
 - 迷ってたけれど参加しようかな、という方はスタッフにお声掛けください

最後に...その2

- 藍橋過去問について
 - 実はH問題まであります
 - パーフェクト版が欲しい方は、お声掛けください